

「岐阜県における中高一貫教育の基本方針(案)」～概要版～

平成20年12月
岐阜県教育委員会

中高一貫教育のねらい

1 中高一貫教育の意義 (H9.6 中教審答申)

高校入試の影響を受けないゆとりある安定的な学校生活
6年間の計画的、継続的な教育指導
6年間にわたる生徒の把握による個性伸長、優れた才能の発見
異学年の交流による豊かな社会性、人間性の育成

2 岐阜県における中高一貫教育の検討の経緯

- H10 フロンティアプラン “教育21” 研究委員会
- H12 岐阜県中高一貫教育研究会議
- H13 岐阜県高等学校活力向上検討委員会
- H18 岐阜県高等学校教育研究会
- H19～20 岐阜県中高一貫教育検討会

岐阜県の中高一貫教育の現状

実践 (連携型中高一貫教育校)

西濃地区...揖斐高校、揖斐川中学校・北和中学校
可茂地区...八百津高校、八百津中学校・八百津東部中学校

- ・中学校教員と高校教員が相互に行う授業交流
- ・中学校教員と高校教員がともに行う授業研究
- ・中学生と高校生の地域行事への積極的な参加
- ・チャレンジテストの実施 等

成果

- ・6年間を見通したきめ細やかな学習指導と生徒指導
- ・「地域の学校で地域の子どもを育てる」ことによる地域づくりへの貢献

課題

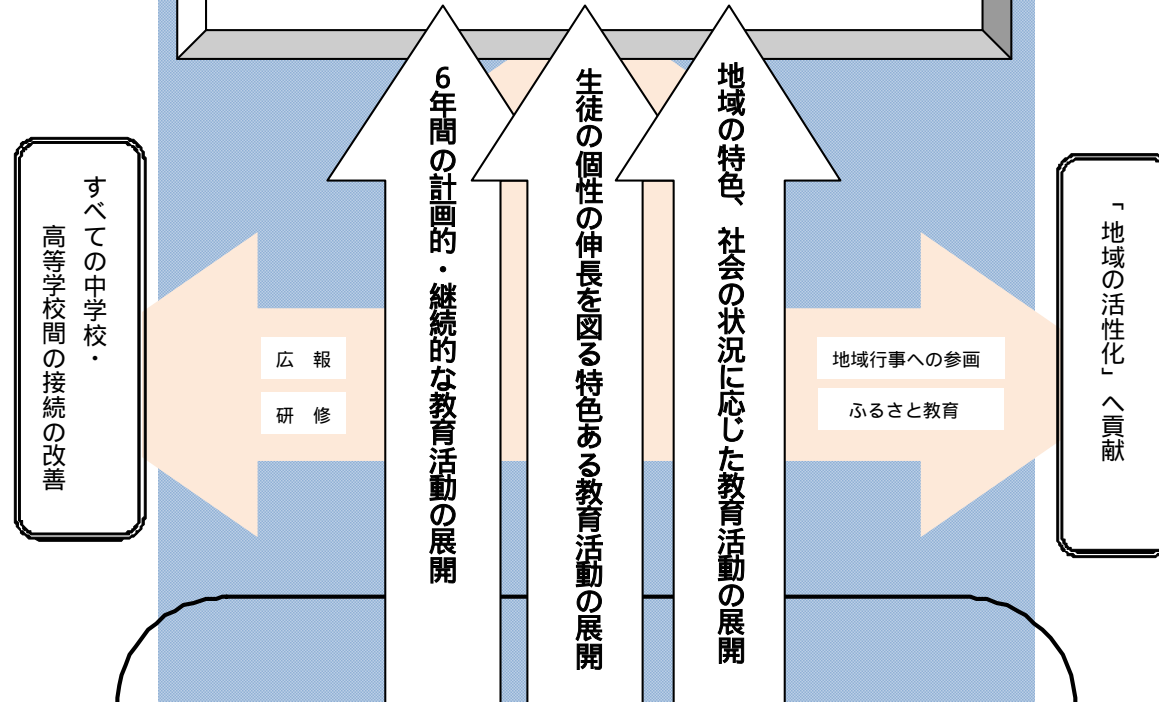
- ・授業交流を行うための教員数が不足
- ・授業交流の教科の設定や内容の担当教員間の調整が不十分
- ・中高一貫教育について理解する研修会が不十分
- ・教育課程編成の特例を生かした教育課程が未編成
- ・6年間を見通した教育活動計画が不十分
- ・中高一貫教育の活動をサポートする体制が脆弱 等

岐阜県にふさわしい中高一貫教育

岐阜県型中高一貫教育の在り方

岐阜県の中高一貫教育校の目的

「学力の向上」と「豊かな心の育成」のバランスがとれた教育を重視する中高一貫教育を実現していく



連携型中高一貫教育校を拡充

- ・少子化、過疎化の進む中山間地等に、地域の実情に応じて新たに設置
- ・連携型中高一貫教育校の教育活動の改善と充実
- ・中学校と高校との連携のモデルとして、その成果を還元

中学校、高校をとりまく社会状況や県民ニーズに留意しつつ中等教育学校、併設型中高一貫教育校の設置の検討を継続

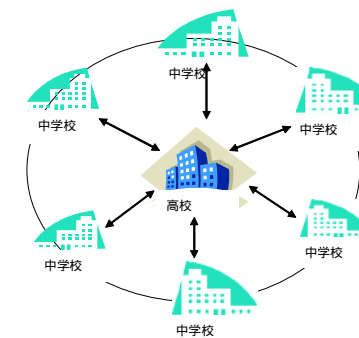
県立全寮制中等教育学校の整備の中止

連携型中高一貫教育の基本方針を具現化する方策

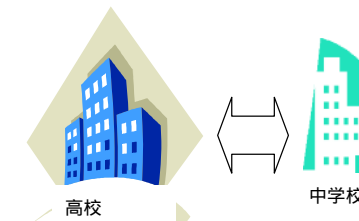
接続の在り方

- (1) 学力を身につける中高的接続
基礎的・基本的な学習内容の定着と生徒の可能性を生かす発展的な学習指導の推進
(カリキュラムの改善、チャレンジテストの実施 等)
- (2) 生徒理解を深める中高的接続
中学校と高校が生徒情報を共有する等、個に応じた指導の推進
(中高連携の道徳教育、キャリア教育、異年齢集団による合同体験学習 等)
- (3) 個性を伸ばす中高的接続
6年間の継続した指導の中で生徒の可能性を伸ばす教育の推進
(部活動の連携、地域に支えられたキャリア教育 等)
- (4) 中高を通して行われる地域との接続
中学生と高校生が協働して行う地域活動の推進
(ふるさと学習、地域の企業との連携 等)

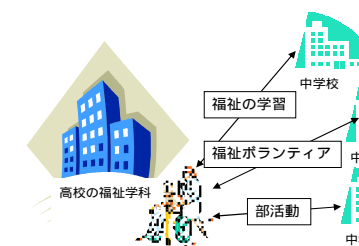
設置のモデル例



・市町村にあるすべての中学校と高校の連携



・ある中学校の卒業生がある高校の入学生の過半数をしめる場合の1対1の連携



・高校の特定の学科と、その学科の特色を中学校の特色として生かす連携